



# 2024年度 大学発医療系スタートアップ支援プログラム 公募説明会

2024年11月27日

九州大学

生命科学革新実現化拠点

橋渡研究推進部門

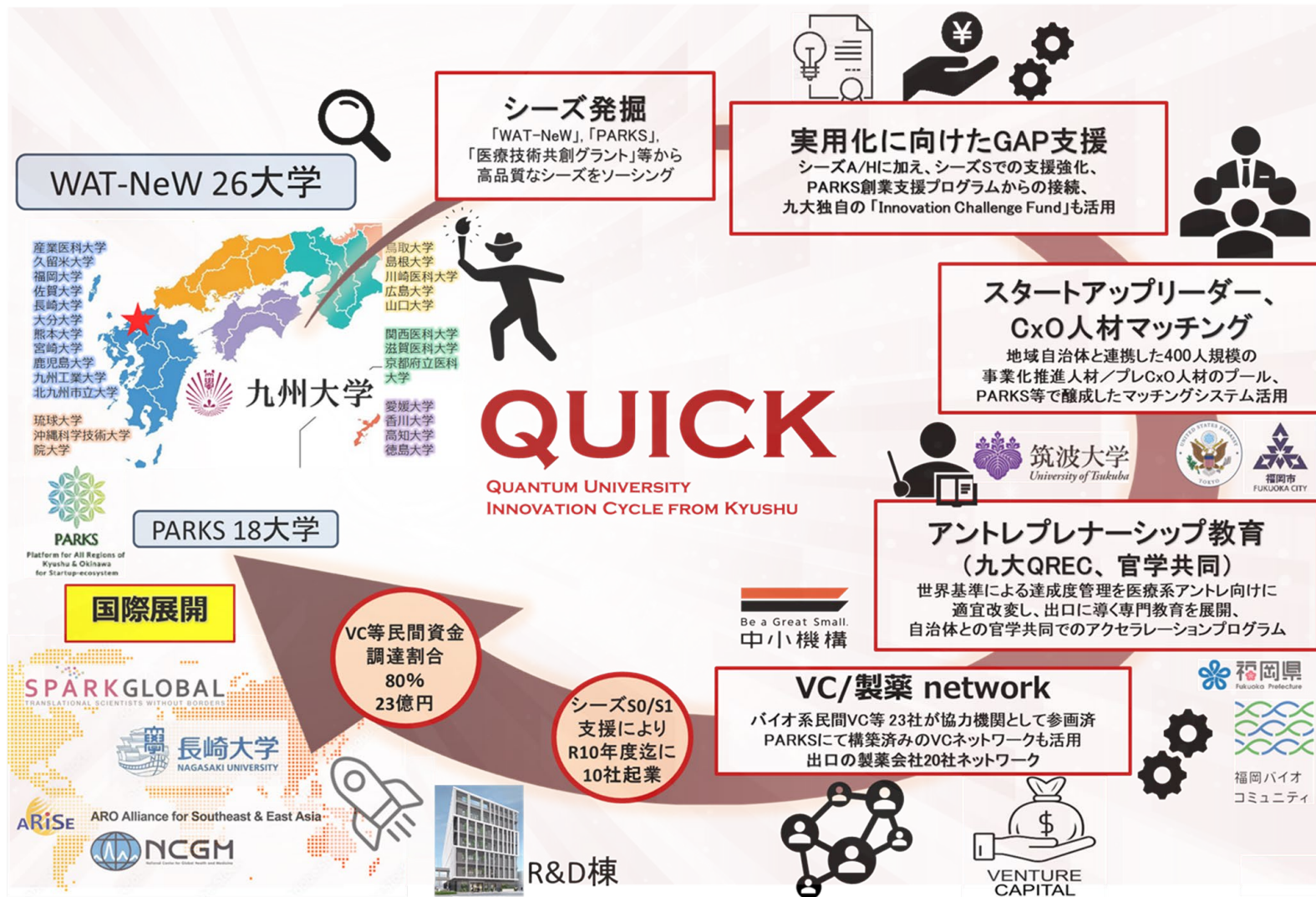
# 本日の内容

1. 九州大学の医療系スタートアップ支援  
**QUICK**について
2. 2024年度 公募内容

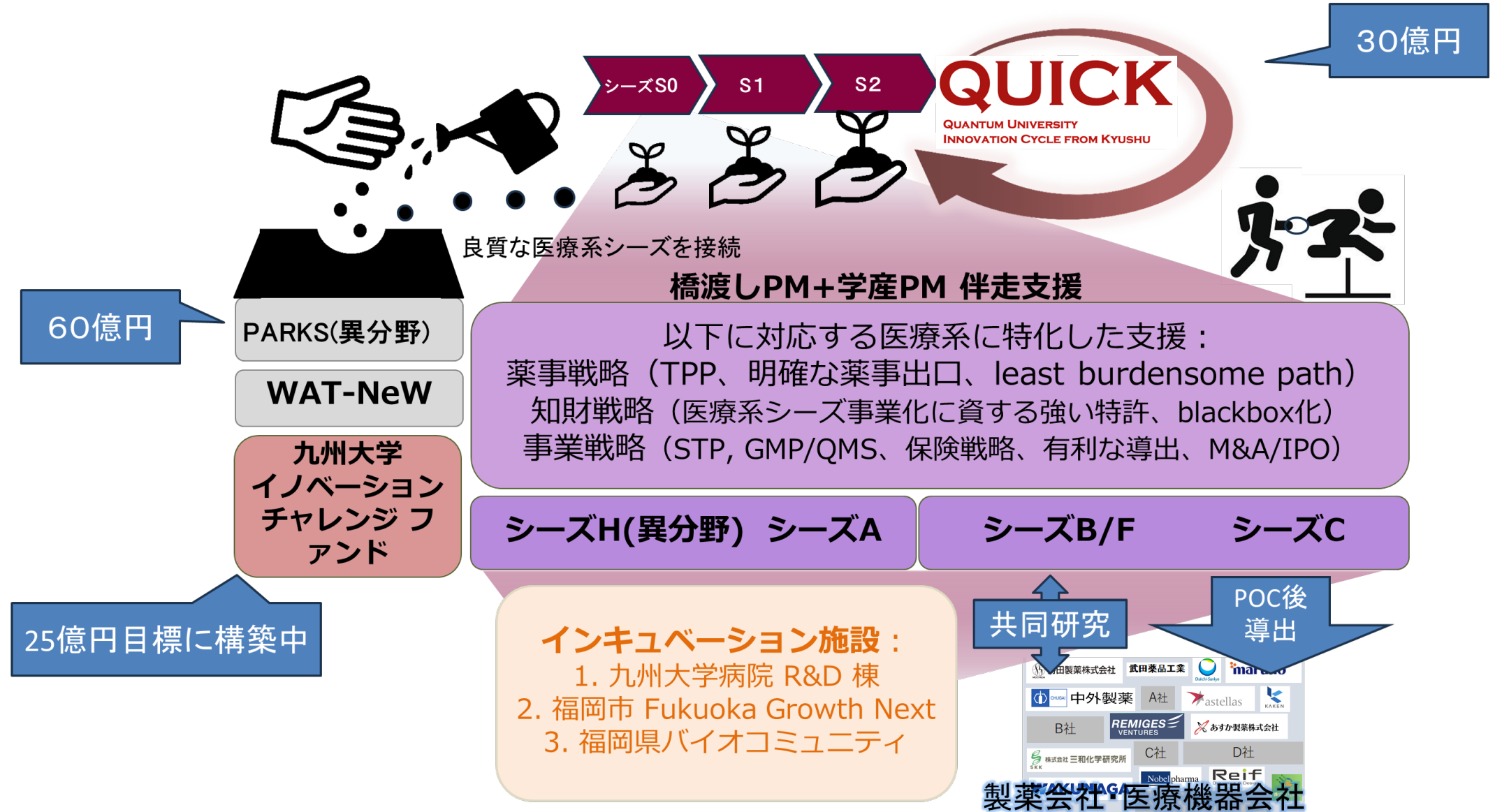
# 1. 九州大学の医療系スタートアップ支援 QUICKについて

# 大学発医療系スタートアップ支援プログラム

総合知を新医療へ、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築



# GAP支援：経験あるPMの伴奏



# 九州大学PARKSのプラットフォーム

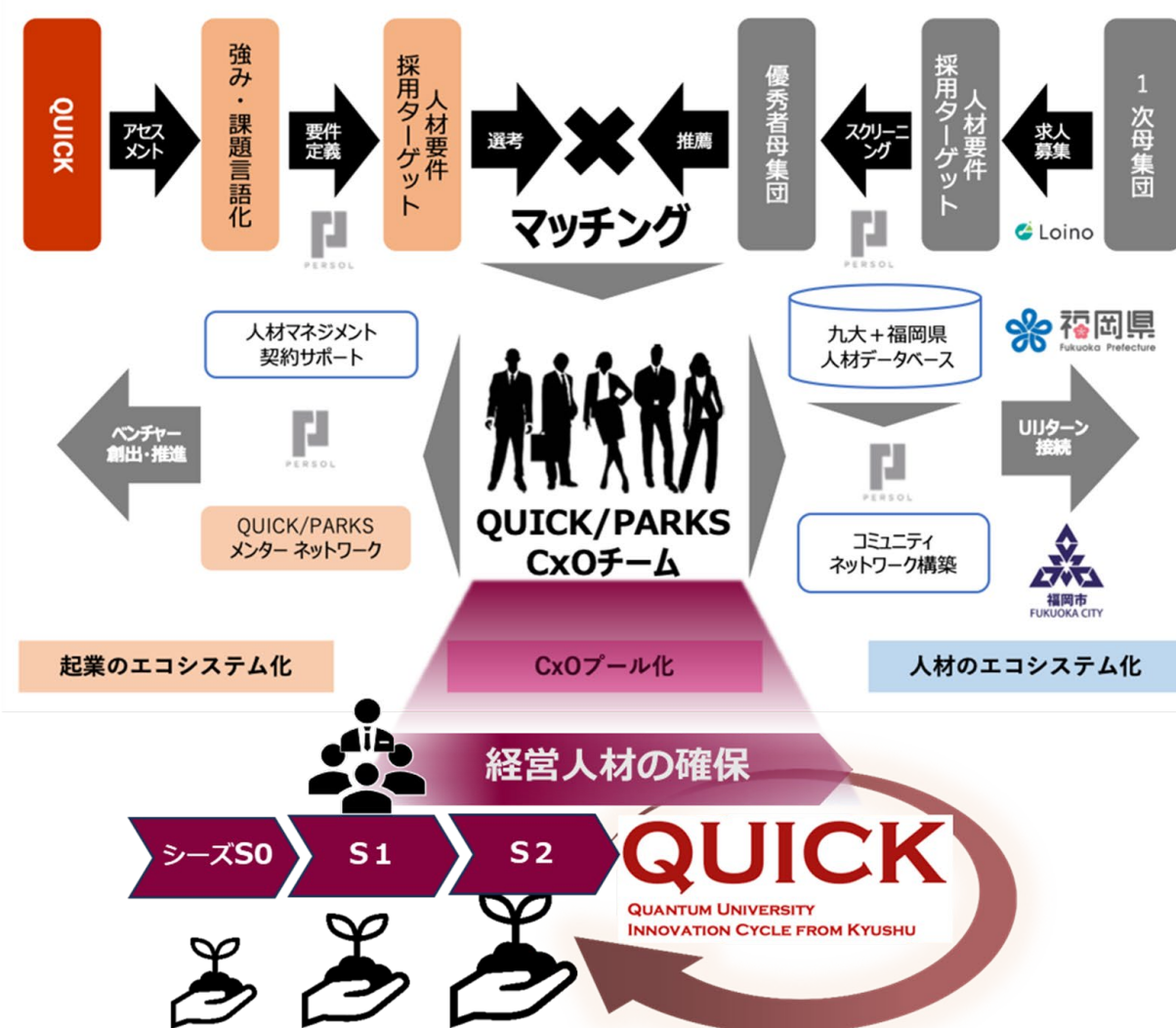
産学官金からなる多様なメンバーとのネットワークを活用し、  
独自のVCやPOCファンドを運用



PARKS（異分野）で整備した基本骨格と連携して医療系スタートアップに傾注する

# 官学共同のCxOプールを活用

CxOバンク（九州大学＋福岡県商工部新事業支援課構築） 令和5年404人登録



**CxO人材構成：**  
 CEO 31%, 事業部長21%, CFO 12%,  
 CMO 9%, その他27%

**居住地域：**  
 首都圏67%, 関西圏11%, 九州13%

**CxOバンク 人材例：**

**A氏：**

- ・大手外資系製薬企業 研究開発チームリーダー
- ・大手外資バイオ系企業 CRO事業のマーケティング・セールスマネジャー
- ・国内大手化学メーカーにてバイオ関連新規事業開発

**B氏：**

- ・大手外資系医療機器メーカー マーケティング、プロダクトマネジャー
- ・海外勤務経験5年以上。
- ・国内医療機器SUにて事業開発、製品開発業務を担当。

**C氏：**

- ・大手外資系製薬企業 MR
- ・大手外資系コンサル 製薬企業合併／創業ポートフォリオ戦略立案
- ・外資系医療系コンサル・CRO マネジャーとして日本含むアジア各国の臨床試験のマネジメント

# 福岡ライフサイエンス産業拠点：R&D棟を新設

## 敷地内R&D施設 概要

### 外観イメージ



### フロア構成



### 施設イメージ



建設中（2025年12月完成予定）  
延床面積 8500m<sup>2</sup>

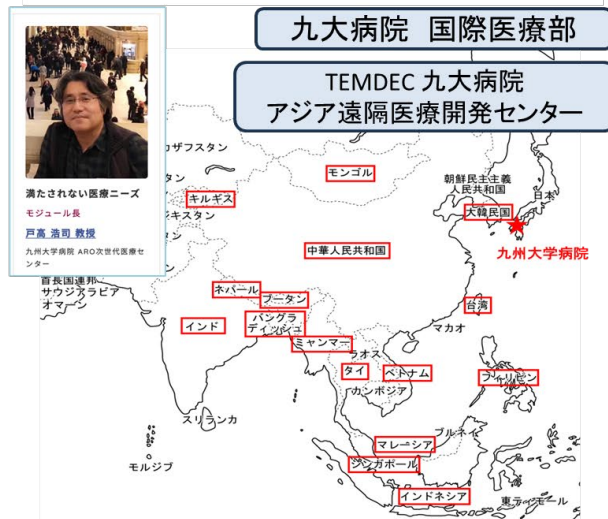
- ・九州大学病院に直結
- ・民間が運営
- ・2～3階に九州大学AROと生命科学革新実現化拠点
- ・4～6階にライフサイエンスラボ（BSL-2まで対応可能）とオフィス
- ・創業初期から臨床開発までのエコシステムを構築し、グローバルで戦える創薬プレイヤーの輩出を目指す



# アジアから国際展開・感染症開発の強み



満たされない医療ニーズモジュール



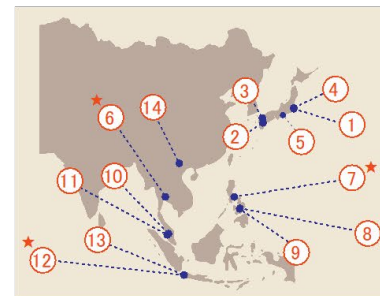
17か国との臨床研究ネットワーク

Clinical Research MalaysiaとMoU



長崎大学 感染症研究出島特区

フィリピン・サンラザロ病院とMoU



- タイ**
  - ⑥ マヒドン大学シリラート病院
  - ★ NCGM 連携オフィス設置
- フィリピン**
  - ⑦ フィリピン大学マニラ校 (フィリピン NIH、フィリピン総合病院含む)
  - ★ NCGM 連携オフィス設置
- マレーシア**
  - ⑧ コラソン・ロクシン・モンテリパノ・メモリアル・リージョナル病院
  - ⑨ ウェストビサヤ州立大学
  - ⑩ クリニカル・リサーチ・マレーシア
  - ⑪ マラヤ大学医療センター
  - ⑫ インドネシア大学
- インドネシア**
  - ⑬ シロアムホスピタルグループ
  - ⑭ モフタルリアディンスティテュート・フォー・ナノテクノロジー
- ベトナム**
  - ⑮ 国立バクマイ病院

アジア諸国の開発ネットワーク



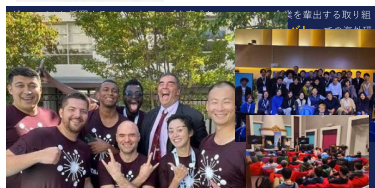
# 福岡市・県から国際展開

11 国・地域  
15 拠点

福岡市

JAPAN, FUKUOKA  
**STARTUP PACKAGE**  
for Foreign Entrepreneurs

高島市長



## 国家戦略特区（福岡市） で起業家を優遇

- ・スタートアップビザ
- ・事務所等の賃料補助
- ・スタートアップ法人減税

福岡県

福岡バイオコミュニティ  
FUKUOKA BIOCOMMUNITY

EQUIPMENT  
アクセラレーターでは  
類を見ない  
約100種類の最新機材



ヒーリー知事  
石橋総長

2023年

定期的にベンチャーと共にMass Bio等 Boston訪問

**SPARKGLOBAL**  
TRANSLATIONAL SCIENTISTS WITHOUT BORDERS



Stanford大を中心としたTRネットワーク  
への接続



## 2. 2024年度 公募内容

# 公募課題



## シリーズS0 (若手育成)

学生・研究者等の若手人材・チームを対象に、SU支援拠点のPMが自身で支援したい若手人材・チームを選定し、研究費を支援するとともに、各SU支援拠点に所属する専門人材と連携して起業に向けた伴走支援を実施。AMED が主催するコンテストにおける発表を必須とする。

支援期間：最長2年間  
支援額：1,000万円程度/年  
研究代表機関：大学等のアカデミア  
支援終了時まで、事業計画の策定をめぐす

※若手研究者の定義：令和6年4月1日（あるいは支援開始）時点において、①年齢が満43歳未満の者、②又は博士号取得後10年未満の者のいずれか高い方。③ただし、出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長2年、月単位で日数切り上げ）加算できる。

## シリーズS1 (起業前)

起業を介して医薬品・医療機器等の実用化を目指す課題に対し、起業する前に必要なフィージビリティ・スタディ（FS）の実施や起業に必要な人材の確保、インキュベーション施設利用等に必要な費用を支援するとともに、SU支援拠点が起業・実用化に向けた伴走支援を実施。原則2年度目終了時にステージゲート評価を実施。

支援期間：最長3年間  
支援額：3,000万円程度/年  
研究代表機関：大学等のアカデミア  
支援終了時まで民間からの資金調達に関してVC、CVC、事業会社等と対話を実施した上で、起業することを目指す

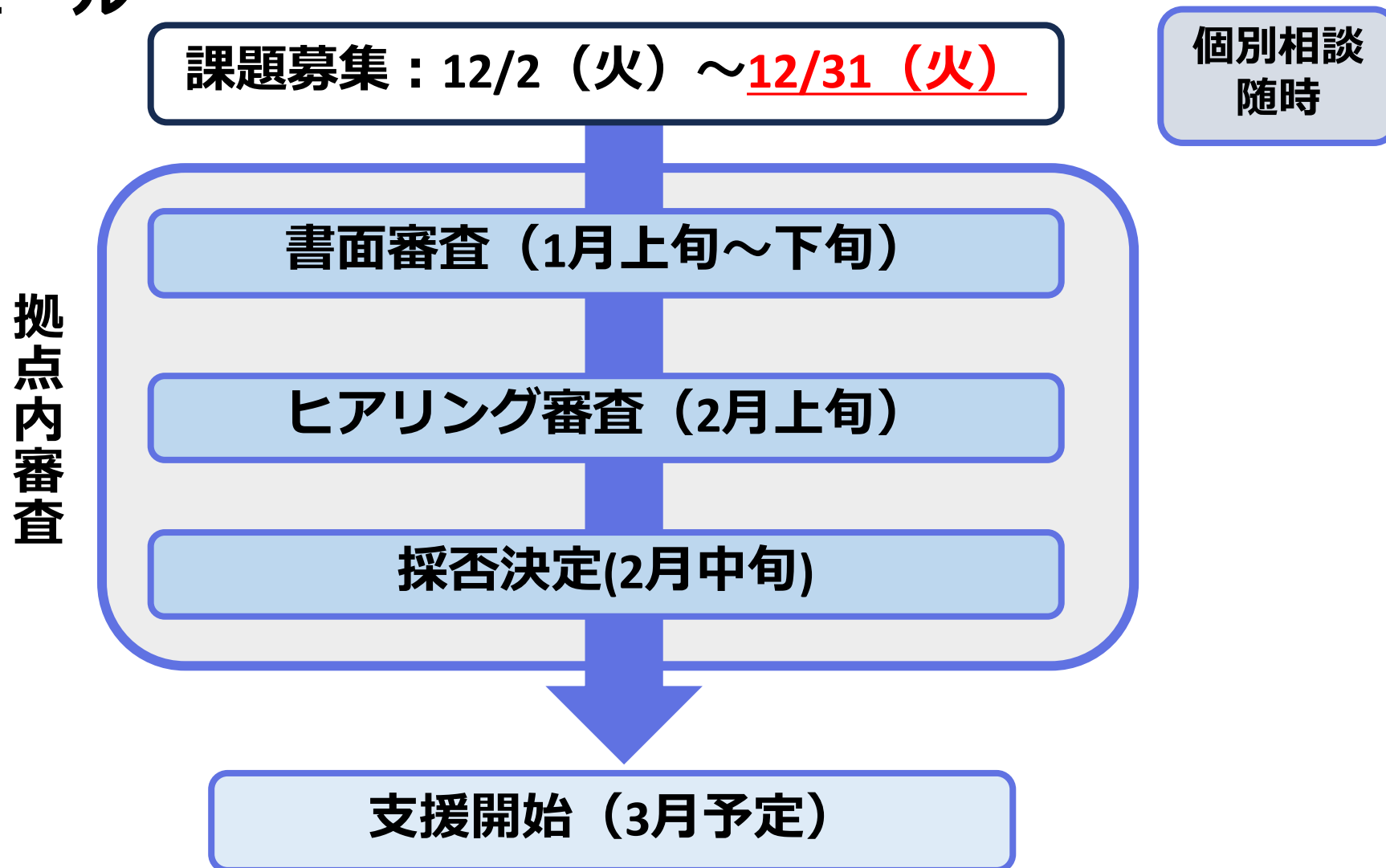
## シリーズS2 (起業直後)

医薬品・医療機器等の実用化を目指す起業直後のスタートアップに対し、自走可能な民間資金を獲得するまでの間、非臨床試験等に必要な費用、治験薬・医療機器等の開発費、インキュベーション施設利用料や経営人材等の確保に必要な経費を支援するとともに、SU支援拠点が伴走支援を実施。

支援期間：最長2年間  
支援額：1.5億円程度/年  
研究代表機関：スタートアップ企業  
支援終了時まで自走可能な民間資金の獲得を目指す

←2024年度の公募対象

# 公募スケジュール



※12月28日から1月5日までは冬期休業期間です。その期間のお問合せには応じかねますので、ご相談はお早めをお願いいたします。

# 募集課題

シーズ	対象	支援期間	支援額
S0	スタートアップを介して 医薬品・医療機器等の実用化を目指す若手研究者※1 を対象に、 担当PM(プロジェクトマネージャー)と共に起業を目指す課題	最長 2年間	1,000万円 程度/年
S1	スタートアップを介して 医薬品・医療機器等の実用化を目指す課題を対象とし、 臨床への応用を見据えた基礎データの取得、経営戦略を策定し、 支援期間内に <b>起業を実現する</b> 課題	最長 3年間 2年目にステージ ゲート審査有	3,000万円 程度/年※2

※1①年齢が43歳未満、または②博士号取得後10年未満(出産・育児・介護期間は除く:最長2年)

※2起業前に必要なフィージビリティ・スタディの実施や起業に必要な人材の確保、インキュベーション施設利用等のための費用も対象

# 募集課題

シーズ	達成目標	
S0	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>• in vivo/ in vitroでの有効性の確認、製品基本要件の確立、試作機の作製 等</li> </ul>
	事業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究者と起業家の違いを正しく理解し、ビジネスの観点からプロジェクトを論理的且つ簡潔に説明する</li> <li>• キャッシュフロー計画とバリュエーションを座学として理解し、キャッシュインの前提条件と仮説からプロジェクトの価値を定量的に示す</li> </ul>
S1	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有効性以外に関する非臨床試験の達成(CMC、体内動態、毒性等について、開発中止となる懸念材料がないことを示す)又はその検証・解決に関する明確な計画の策定、試験物製造法の確立、最終製品相当の試作機作成及びその性能評価が<b>概ね完了</b> 等</li> </ul>
	事業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一定規模の民間投資を達成するための課題を明確にし、そのアクションプランを立てる</li> <li>• キャッシュインとキャッシュアウトから精緻化したキャッシュフロー計画書を策定し、想定バリュエーションに基づき資本政策案を立てる</li> <li>• 経営者候補が確定している</li> </ul>

# 2024年度採択予定数・主な審査基準

2024年度採択予定数	
<b>S0</b>	<b>2 課題</b>
<b>S1</b>	<b>1 課題</b>

## 主な審査基準

- ① 解決する医療課題に大きな社会インパクトがあること
- ② 医療課題の解決策に新規性・優位性があり論理的に説明されていること
- ③ 課題解決の実現への道筋が十分に練られていること（S0応募課題については示させていること）
- ④ 応募者の起業家としての資質・意欲
- ⑤ 研究費の使用目的やその適切性が示されていること



# 支援内容・留意点

## 支援内容

- 事業化に向けたメンタリング
- 研究開発支援
- アントレプレナーシップ教育
- 海外展開に向けたプレゼンテーション指導とマインドセット構築
- CxO/プレCxO人材の採用支援
- 必要に応じて連携する外部機関の紹介 等

採択直後はPMとの会議にて、最初は提案書に内容を磨き上げるところから、それを具体化しアクションプランに落とし、その後は進捗管理を行います。シーズ段階に応じて、PMが只のコンサルタントやメンターではなく、実務も含めたハンズオン支援を行います。

## 留意点

- 当拠点が指定するアントレプレナーシップ教育の参加、当拠点やAMED等が指定するデモデーやピッチイベント等へのご参加いただきます。
- 研究内容が実質的に同一とみなされる課題の応募については、橋渡し研究プログラム内では1件のみとなります。類似性の高い課題が橋渡し研究プログラムに採択されている場合(他拠点も含む)、事前にご相談ください。

# 応募書類

	必要な提出書類	
①	(様式1) 提案書	<ul style="list-style-type: none"><li>・ word形式</li><li>・ 3枚以内 (基本情報 1 枚 + 課題の概要 2 枚以内)</li></ul>
②	(様式2) 課題予算案	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エクセル形式 (年度単位で作成)</li><li>・ 単価が300万円以上の設備備品費・外注費については見積書も提出</li></ul>
③	(様式3) 研究費の応募・受け入れ状況および利益相反について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ word形式</li></ul>
④	概要資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 提案書に即した概要資料をpptx形式でご提出ください。</li><li>・ 10枚以内</li><li>・ 冒頭にexecutive summary (1枚) を含めてください。</li><li>・ ヒアリングを意識したスライドを作成ください。</li></ul>

# お問合せ先

## お問合せ先

九州大学

生命科学革新実現化拠点

橋渡研究推進部門

E-Mail: [nw-info@med.kyushu-u.ac.jp](mailto:nw-info@med.kyushu-u.ac.jp)

Tel: 092-642-4802

公募要領・申請書類の  
ダウンロード先



(<https://wat-new.org/>)

西日本橋渡し研究ネットワーク (West Japan Academia Translational Research Network)

English

プライバシーポリシー

規約

お問い合わせ

## WAT-NeW



西日本アカデミア橋渡し研究ネットワーク  
West Japan Academia Translational Research Network

## WAT-NeW

ホーム

Home

WAT-NeWの活動

Working

グラント・  
アワード情報

Grantaward

イベント

Event

お知らせ

News

メールマガジン

Mailmagazine



WAT-NeWについて



会員登録



### 最新情報

→ 2024/11/20 [大学発医療系スタートアップ支援プログラム 公募説明会](#)

→ 2024/10/24 [【11/21 \(木\)開催】第7回異分野融合のはじめかた セミナー](#)

**ご清聴ありがとうございました**

